

# 19 きつ<sup>おん</sup>音<sup>で</sup>が出<sup>はな</sup>にくい<sup>かた</sup>話し方

## (1) ゆっくり<sup>はな</sup>話す

とく くに、はじめの<sup>おと</sup>音<sup>はな</sup>をゆっくり話す

(例) 「ほくは きのう おすしを たべた」

→ 「ほーくは きのう おすしを たべた」

少し、ゆっくりめに

## (2) はじめの<sup>おと</sup>音<sup>だ</sup>をそっと、やわらかく<sup>だ</sup>出す

はじめの<sup>おと</sup>音<sup>だ</sup>を出す時に、のどや口<sup>くち</sup>をそっと、やわらかく<sup>うご</sup>動かす。のどや口<sup>くち</sup>に力<sup>ちから</sup>をあまり入れない。のどや口<sup>くち</sup>をはっきり、ていねいに<sup>うご</sup>動かす。「あ」、「い」、「う」、「え」、「お」の口<sup>くち</sup>の形<sup>かたち</sup>に気<sup>き</sup>をつける。

(例) 「ほくは きのう おすしを たべた」

→ 「ほおーくは きのう おすしを たべた」

そっと、やわらかく



「あ」



「い」



「う」



「え」



「お」

(3) はじめの音<sup>おと</sup>を、くり返<sup>かえ</sup>したり、のぼ<sup>のぼ</sup>したりする

はじめの音<sup>おと</sup>を1～2回軽<sup>かいかる</sup>くり返<sup>かえ</sup>す。あるいは、はじめの音<sup>おと</sup>を少し<sup>すこ</sup>伸ばす。

(例) 「ぼくは きのう おすしを たべた」

→ 「ぼ、ぼくは きのう おすしを たべた」

1～2回、軽<sup>かいかる</sup>くり返<sup>かえ</sup>して

→ 「ぼーーくは きのう おすしを たべた」

少し<sup>すこ</sup>の<sup>の</sup>伸ば<sup>のぼ</sup>して

(4) 少し<sup>すこ</sup>待<sup>ま</sup>ってから話<sup>はな</sup>す

緊張<sup>きんちよう</sup>した状態<sup>じようたい</sup>が和<sup>やわ</sup>らいでから話<sup>はな</sup>す。のどや口<sup>くち</sup>、体<sup>からだ</sup>を楽<sup>らく</sup>にしてから話<sup>はな</sup>す。

(例) 「ぼくは きのう おすしを たべた」

→ 「ぼ……ぼくは きのう おすしを たべた」

少し<sup>すこ</sup>待<sup>ま</sup>ってから